

制 作

1. 指 針

- (1) テーマに基づいた展示を行う。
- (2) 常に責任者と協議し、その指導にしたがって良識ある活動を行う。
- (3) 参加を希望する団体は、各種申込用紙を提出する。内容に不備のある場合は、責任者を通じ差し戻す。

2. 制作内容の注意点

はぐま祭の内容については、生徒会本部、生徒課、課長主任会、職員会議で審議され、校長が最終決定を下す。

- (1) 食品の取り扱いについては、別紙を参照のこと。
- (2) 大きな音を出すなど、周囲を妨害しかねない行為は禁止する。
- (3) 展示において、既製品のゲーム機を使用してはならない。
- (4) 参加申し込みにおいて許可された場所以外で活動してはならない。机・いすの移動までは、部展は各部室、クラス展は各クラスで活動する。
- (5) 所属団体外の者に、参加を強要してはならない。
- (6) 展示会場については別紙を参照のこと。

3. クラス展の展示場範囲

- (1) 28 HR を除く 2 年のクラス展は、教室の半分を使用する。教室は、黒板側とロッカー側で分割する。
- (2) 28 HR および 3 年のクラス展は、1 教室すべてを使用する。

4. 展示場制作の注意点

- (1) 熱中症対策のため、各展示場では常時換気する。換気方法は次の通りである。

換気方法

廊 下 窓：すべて常時 10 cm 開ける。

教 室 窓：すべて常時 10 cm 開ける。

教室壁の窓：真ん中の窓をすべて開ける。

なお、雨天時は廊下窓および教室窓は雨が降り込まないようにする。

制 作

- (2) 廊下は展示場として使用したり、ゲートや装飾などを除く一切のものを置いたりしてはならない。ゲートや装飾などを設置する場合は、廊下を 190 cm 以上開ける。
- (3) 蛍光灯を取り外したり、付近に物を設置したりしてはならない。
- (4) エアコンは、展示物で覆ってはならない。
- (5) 天井、壁、廊下、窓やサッシなどへの釘、ガムテープ、ビニールテープ、画びょうなどの使用は禁止する。また、以下の行為をしてはならない。
 1. 塗料・ワックスがはがれたり、跡が残ったりする部分へのテープ類の使用。
 2. 黒板へのテープ類の使用。
- (6) スプレー、ペンキ等の使用は下記の通りにする。なお、使用はすべて屋外で行う。なお、使用にあたっては、活動場所をすべて責任者に伝える。
 1. 使用時はブルーシートで床を覆い、その上に新聞紙、段ボールなどを敷く。
 2. スプレーは風で拡散することのないよう注意する。
 3. 絵の具の付着のあるものは、校舎の水道で洗ってはならない。はぐま会館となりの水道または武道場 1 階の水道を使用する。
- (7) 火気は、その一切を禁止する。
- (8) 工具およびカッターなどの取り扱いにあたっては、けがのないよう注意する。校舎を破損することのないよう、板を下に敷く。
- (9) 校舎を破損した団体は、責任者および事務室に申し出たうえで、各自の責任のもと復旧する。かかる費用の一切は、各自でこれを負担する。

参 考 天井のボード 1 枚を張り替える場合、約 10 万円かかる。

- (10) 準備に際し使用するものの一切は、各団体で用意する。学校の備品は、特別に許可を得た場合を除き、使用してはならない。生徒会本部および事務室は、用具の貸し出しを行わない。
- (11) 個人の所有物には、それぞれ氏名を記入する。
- (12) 特別教室などの備品を使用する場合は、管理者に問い合わせ、その指示に従う。
- (13) 大量の電力を消費する器具を使用してはならない。また、コードリールは、巻いたまま使用しない。
- (14) 定時制と教室を共用する教室では、定時制の掲示物を外してはならない。
- (15) 職員室および準備室付近などで作業してはならない。右図の黒塗りの部分では作業してはならない。

			共履室 2 221	
定時職員室 216			共履室 3 222	
定生 215	WC (男女)			
生徒会室 212	放送 213 スタジオ		WC (男)	階段
小会 議室 210	印刷室 211			
全日職員室 209		WC (女)		

-
- (16) 準備室前での作業は、担当教員の許可を得たうえで、業務を妨害しないようにする。
- (17) 他団体の教室前では、教室の使用の有無を問わず作業しない。ただし、責任者同士の協議により合意を得た場合はこの限りではない。
- (18) はぐま祭前日の午後、生徒課教員による展示会場の見回りを実施する。違反ないし危険な部分があった場合、責任者に通達する。当該箇所は開会式までに修正する。
- (19) 展示会場のごみ箱は原則撤去し、使用団体ごと保管する。団体の判断によりごみ箱を設置する場合は、各団体がごみ処理の責任を負う。
- (20) 窓を暗幕ないし段ボールで覆う場合は、以下の点に注意する。
1. 窓の開閉の妨げにならないように覆う。
 2. 破損および転落の危険があるため、窓を開けたまま覆わない。
 3. 覆った場所に来客が寄りかかることのないよう、掲示ないし説明にて注意を徹底する。
- (21) 窓の付近に、高さのあるアトラクションを設置してはならない。机は、窓の付近で使用してはならない。
- (22) 教室の扉および窓を取り外すことはできない。
- (23) エアコンは、熱中症対策等の観点から、適切に使用する。

5. 机・いす・教卓

(1) 使用制限

数量に限りがあるため、使用制限を設定する場合がある。使用に際する優先順位は「はぐま祭の方針 3. 注意事項 (1) (p. 1)」を参照のこと。

机・いす・教卓以外のものについては、「制作 4. 展示場制作の注意点 (12) (p. 8)」を参照のこと。

数量は事前に文化祭実行委員が集計する。なお、教卓は 27 台である。

(2) 使用数

第二次申し込み用紙に記入する。申し込み後は原則変更を受け付けない。

(3) 移動先および移動時間の決定

担当教員が「机・いす・教卓の移動表」を作成し決定する。

注 意

第二次申し込み用紙の提出内容を参照する。表の作成にあたり時間を要するため、第二次申し込み用紙の提出後は希望数の変更を一切認めない。

6. パネル・暗幕

パネルの担当は体育委員会、暗幕の担当は交通安全委員会。

(1) 使用制限

パネル・暗幕の数量には限りがあるため、以下の通り制限を設ける。

1. パネル：各団体 3 枚以内 (2 年クラス展は、部展・3 年クラス展への配布後余りがある場合に限る)

2. 暗 幕：各団体合計 45 m² 以内

注 意 教室を分割する場合の仕切りはこれに含めない。

部展については、パネルに余りがある場合、追加の配布を行う場合もある。

(2) 使用数

第二次申し込み用紙に記入する。提出後の変更は受け付けない。

(3) 在 庫

パネル・暗幕の在庫数はそれぞれ次の通りである。

1. パネル：138 枚

注 意 生徒会本部の備品のサイズは、(縦) × (横) = 90 cm × 180 cm。

2. 暗 幕：次の表の通り。ただし、性質上ある程度の誤差を含む。

(サイズの単位は cm。左から、1 号、2 号、の順で 5 号までである)

サイズ	1.0×2.0	1.8×3.5	1.8×5.0	1.8×7.0	1.8×9.0
数 量	18	58	18	11	39

色は、黒・茶・紺のいずれか。原則として色は選択できない。事情により色の指定が必要である場合は、第二次申し込み用紙にその旨を記入する。担当教員との協議により認められる場合がある。

(4) 配 布

配布の割り振りは、実行委員会が調べる在庫数に基づいて生徒会本部が行う。配布時に不足ないし破損等があった場合は、各団体と実行委員会が協議し対応する。

7. 会 計

(1) 経費の上限

展示経費の上限を以下の通りに定める。

1. 部展・委員会：上限なし
2. 1 年校内装飾：30,000 円
3. 2 年クラス展：60,000 円
4. 3 年クラス展：90,000 円

(2) 会計報告

各会計担当者は、生徒会本部が配布する会計報告書を提出する。物品の購入にあたっては、領収書の交付を受ける。レシートは認められない。

(3) その他

1. 経費は、すべて各団体が徴収し用意する。
2. 金銭の取り扱いについては各団体が責任を負う。
3. 経費の徴収にあたっては、妥当性、所属生徒の同意、責任者の承認 が必要である。各団体の責任で対応する。
4. 出費は最低限におさえ、集金の過不足は避ける。

8. 申し込み

(1) 第一次申し込み

1. 第一次申し込みの内容に基づき、パンフレットの制作を印刷会社に委託する。
2. 空欄および未選択の部分は、希望がないものとみなす。
3. 提出期限を厳守する。
4. 内容に不備のあるときは差し戻す。

(2) 第二次申し込み

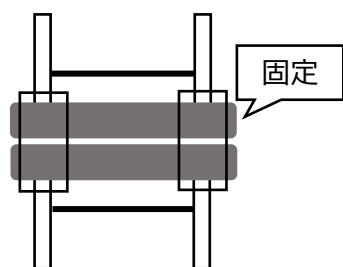
1. 第一次申し込みが承認され次第、第一次申し込み用紙の返却と同時に配布する。
2. 机・いす・教卓の使用希望数の変更は一切受け付けない。
3. 提出期限を厳守する。
4. 内容に不備のあるときは差し戻す。

壁・ゲートの作り方

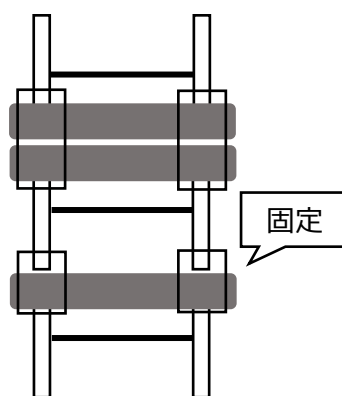
1. 机を使用する

- (1) 机を2段または3段積んで、結束バンドやビニールひもで固定する。
- (2) 段ボールで作った壁や暗幕などを机の柱に固定する。ビニールひもに加えガムテープで補強する。

2 段



3 段



2. 段ボールを使用する

- (1) 同じサイズの段ボールを積み、ガムテープや結束バンドで固定する。
- (2) 一番下の段ボールの中に、ペットボトルなど重いものを入れて固定する。養生テープなどテープ類は禁止。

